

八 潮 市

令和4年11月29日

〈報道発表資料〉

都市デザイン部 都市計画課
担当 課長 山口
直通 048-996-3904



E-mail:toshikeikaku@city.yashio.lg.jp

がいかんやしお
(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの新規事業化が決定

当市では、(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの整備に向けて関係機関との協議・調整を進めてきました。

このたび、国土交通大臣より高速自動車国道と八潮市道との連結が許可され、令和4年9月30日、(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの新規事業化が決定されました。

また、新規事業化の決定を受け、令和4年10月20日に国土交通省から八潮市長へ「(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジ連結許可書」を伝達していただきました。

1 経緯

- | | | |
|------|--------|---------------------|
| 令和3年 | 8月 6日 | 国の準備段階調査箇所に採択 |
| | 11月16日 | 第1回準備会を開催 |
| 令和4年 | 8月25日 | 第1回地区協議会を開催 |
| | 9月 2日 | 国土交通大臣あてに連結許可申請書を提出 |
| | 9月30日 | 国土交通省より新規事業化が決定 |
| | 10月20日 | 連結許可書伝達式を開催 |

2 見解

当スマートインターチェンジの整備により、周辺地域の交通利便性の向上や地域産業の活性化など様々な整備効果が期待され、当市を含め県東南部の更なる発展に寄与する大変重要な施設であると考えております。

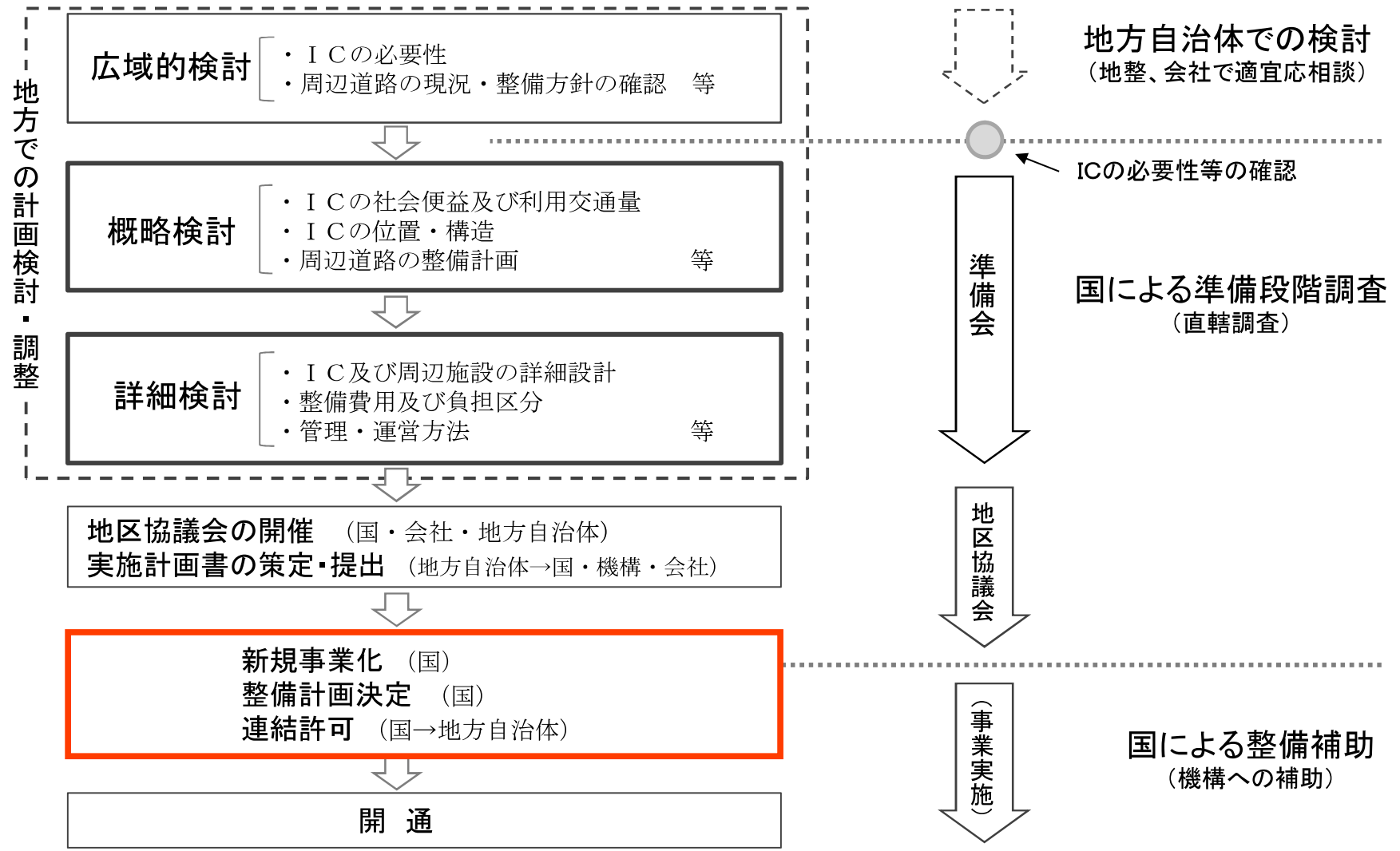
引き続き、地元の皆様方や関係機関と連携し、(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジの早期開通を目指し、事業に取り組んでまいります。

3 添付資料

- ・資料1 スマートインターチェンジの検討・整備について
- ・資料2 スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果
(ともに国土交通省プレスリリース資料より抜粋)

スマートインターチェンジの検討・整備について

- スマートICの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査(直轄調査)を実施(準備段階調査)。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

東京外環自動車道 外環八潮スマートIC(仮称)

<概要>

- 路線名 : 常磐自動車道(東京外環自動車道)
(草加IC~外環三郷西IC間)
- 設置場所 : 埼玉県八潮市
- 接続形式 : SA・PA接続型
- 形式 : 全方向(4/4)
- 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 地域産業の活性化

・外環八潮スマートICの整備により、工業団地から東京外環自動車道へのアクセス性が向上し、輸送の利便性向上による業務効率化や地域産業の活性化が期待される。

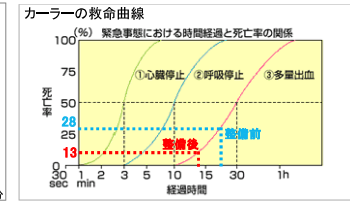
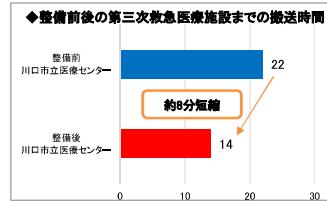


※実走調査は、令和3年12月及び令和4年2月に実施し、時間帯はいずれも平成27年度全国道路・街路交通情勢調査におけるピーク時間帯の17時台整備後の所要時間は、工業団地から外環八潮スマートIC(仮称)予定位置までの走行時間に同予定位置から隣接ICまで東京外環自動車道を走行した際の時間を加算して算出

整備効果 救命救急体制の強化

・外環八潮スマートICの整備により、市内団地から東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設までの搬送時間が約8分程度短縮され、搬送先の選択肢が増え、救命救急体制の強化が期待される。

【市内団地から近隣第三次救急医療施設への搬送ルート】



救急隊員の意見

第三次救急医療施設が不足しているため、第2、第3の搬送先を選択することがあります。外環八潮スマートICの整備によって、長距離・長時間の移動を強いられる、他地域への搬送時間の短縮が期待でき、一分一秒を争う救急活動において、救命率の向上が期待されます。

※東京外環自動車道沿線の第三次救急医療施設を想定。搬送時間については、令和3年12月の草加八潮消防組合からの聞き取り結果(一般道:30km/h、高速道路:80km/hでの緊急走行を想定)から算出

搬送時間の短縮により、多量出血患者の死亡率は減少(約28%⇒約13%)